

# 新しい釜石市総合計画策定概要について

---

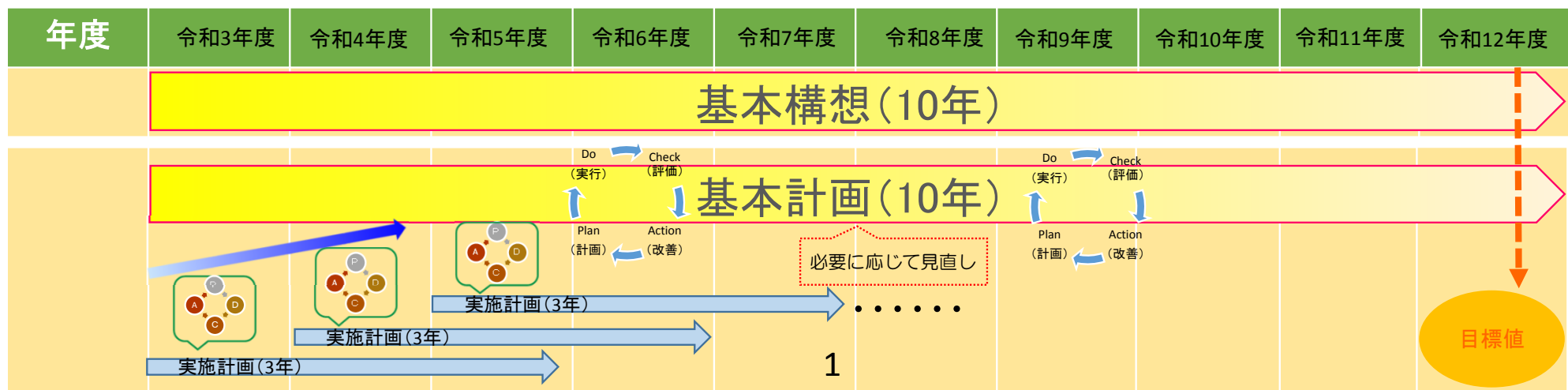


釜石市総務企画部総合政策課

# 新しい釜石市総合計画（令和3年度～令和12年度）の概要

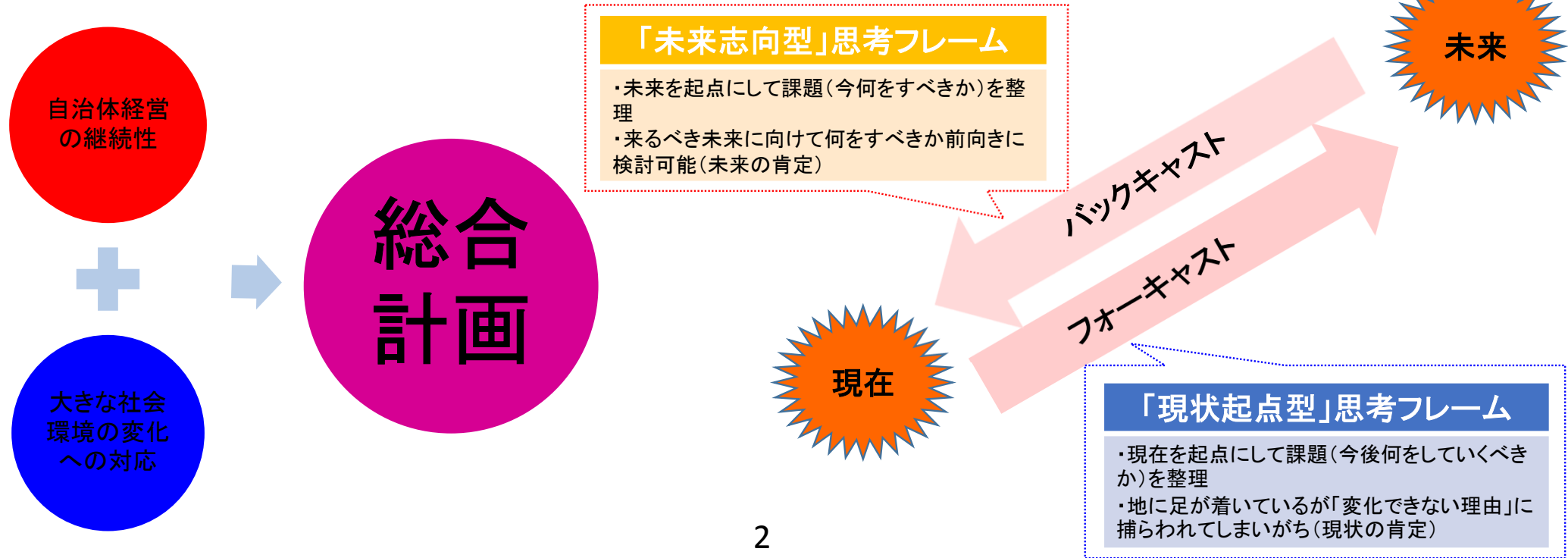
## 計画の構成

<b>基本構想 (10年)</b>	長期的な釜石市の将来を展望し、市民みんなで目指す将来像と、その実現に向けて取り組む政策の基本方向を明らかにするものです。 なお、基本構想は議会の議決事項となる予定です。 [計画期間: 令和3年度から令和12年度までの10年]
<b>基本計画 (10年)</b>	基本構想の実効性を確保するため、重点的・優先的に取り組むべき政策や具体的な施策、重点業績成果指標(KPI)を盛り込むものです。施策の達成度や社会状況の変化を踏まえ、必要に応じて中間年で見直しを行います。 [計画期間: 令和3年度から令和12年度までの10年]
<b>実施計画 (3年)</b>	施策を実施するため、緊急性・重要性・必要性及び財政状況などを考慮し、毎年向こう3ヶ年に実施する事業を示し、その進捗状況に合わせて毎年度見直しを行うものです。 [計画期間: 令和3年度から令和5年度まで 以降毎年向こう3ヶ年計画を策定]



# 新しい釜石市総合計画策定の基本的な考え方

- ・これまで想像もしなかったような大きな社会環境の変化が訪れており、これらの社会環境の変化に対応した自治体経営が求められています。
- ・一方で、これまでも継続されてきた行政サービスをどのように維持し、また見直していくかも自治体経営に求められる大きな課題です。
- ・通常の「現状起点型」の分析だけでは網羅的な課題抽出ができないため、「未来志向型」による課題整理を併せて行いながら施策検討を進めていきます。



# 新しい釜石市総合計画策定体制図

新しい総合計画を作成するにあたって、市では、その策定のプロセスが大切だと考えます。  
市民の皆さんと一緒に「あるべきまちの姿」を描き、共有し、その実現に向けてともに取り組んでいけるような総合計画にするため、次の組織体制で策定作業を進めていきます。

市民が主体的に政策形成プロセスに関わり、合意形成しながら、計画の策定を進めていきます。かまいし未来づくり委員会は、創造的なアイデアを生み出せるとされているワークショップを主とした協議方法により、一人ひとりのアイデアを尊重しながら開催していきます。

総合計画に基づく事業の実行を担う市職員が、策定過程に携わり、主体的に考えることで、計画の実現性を高めます。また、市民と釜石市の未来の姿を一緒に考える機会を持つことにより、策定後も市民のニーズに沿った施策形成につながられることから、市職員一人ひとりが自分のこととして捉え、一丸となって策定を進めます。

## 釜石市議会

提案  
議決

## かまいし未来づくり委員会

- ・市民ワークショップ  
ex.)「保健福祉」「教育文化」「産業雇用」「生活環境」「危機対応」「地域づくり」をテーマに協議
- ・高校生とのワークショップ  
ex.) 釜石コンパス
- ・小中学生とのワークショップ  
ex.) かまいし絆会議

連携

連携

3

市内

- ・総合計画策定委員会
- ・市内作業部会

連携

外部専門家

諮問

答申

## 釜石市総合振興審議会

〔関係機関・団体の役職員等で構成〕  
基本構想及び基本計画、実施計画の審議

地域会議

復興まちづくり協議会

市政懇談会

パブリックコメント